

## 「山の地図を読む」報告

日程：机上講習 5月15日（土）  
実技講習 5月16日（日）

参加者：机上 106名  
実技 45名（抽選）

多数の参加に感謝いたします。

申込者の多さから、地図の読み方、コンパスの使い方に関心を寄せていることは何よりも山を楽しく安全に登りたいとの意志の現れと思います。

机上講習会は全員が聴講でき、ほっとしています。

### <机上講習>

一般基礎知識、地形図からの情報、補完するガイドブックの重要性を説明し、計画段階で地図を有効利用して、ルートから日程までの判断を行うことが重要であること、真北(地球回転軸)と磁石が指す北(磁北)に角度にずれがあることの講義を行いました。

地図とコンパスとの利用では、「進行方向の確認」「現在地の確認」「目標物の確認」の3つの手法について、会場を高麗駅の現地に見立てての講義を行いました。

時間も少なく十分な理解はできなかつたと思いますので、今後はこの点に重点をおき、時間を充分にとり講義を進めていくことが大事であると感じました。

なお、「シルバーコンパス」の言葉自体が判らない(高齢者用の円を描くコンパス？磁石？)方もおり、開催要領で写真を交え、販売店も案内する必要があります。

### <実技講習>

天候も好天に恵まれ講義には最適な1日でした。

駅前では早速2地点を想定して「進行方向の確認」を、登行途中では見渡せる山・建物を想定して「現在地の確認」「目標物の確認」を地図とコンパスを使い講義しました。

また、地形図と歩行してきた時間・距離・周囲の地形・人工物・樹形と重ね合わせての現在地の確認も行いました。

50名近い参加でしたので全員集合の説明では声が行き届きませんでしたでしたが班毎にフォローして貰いました。また携帯無線による連絡で、歩行しながらその都度指導内容を伝達できたことは良かったと思っています。帰路では皆さんの顔が晴れ晴れとしていたことが印象的でした。

実技では参加希望者が多い中での抽選になってしまいましたが、今後は2回に分けて行うことも検討していきます。

また、実技の実施日はハイカーが少なく、木々が芽吹く前で遠望できる4月中旬が最適と思います（計画は大変ですが）。